

NEWS LETTER

善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局 ■ 社団法人 長野青年会議所 内
Tel: 026-228-3260
http://www.sekaiisan-zenkoji.com

伝建保存予定地区における伝統的建造物について

1. 善光寺周辺伝建予定地区の建物事情

「善光寺・宿坊・仲見世」エリアの伝建保存予定地区における建物は明治24年の大火以降の建築がほとんどですが、増加する信徒を受け入れるために宿坊の建物は建替えではなく、増築によって規模を拡大してきました。水平方向と鉛直方向の増築により、木造3階建て以上の建物が密集する建造物群の景観が形成されてきました。増築により、一棟の建物の建築年代は単一の時期ではなく、複合する建築年代となっています。これは既存の重伝建地区での建物では見られない事例ではないかと思われま

2. 何を残すのか!

「善光寺・宿坊・仲見世」エリアでは、伝統的建造物の基準を昭和35年以前としています。一棟の建物の中で、昭和35年以前と以後のものが併存しており、昭和35年以前の建物部分だけを伝統的建造物として特定することについて、問題が露呈することとなりました。

現在見られる宿坊、仲見世の町並景観において、昭和35年以前の建物部分のみを特定すると、それ以降の建物は除外や除却す

ることになるのかという、これは現実的にはあり得ないことです。これまでに形づくられてきた町並景観を積極的に評価し、昭和35年以降の建物でも景観を形成している場合には、それを含めて伝統的建造物として特定し、残していくことがこのエリアにおいては相応しいのではないかと考えています。これについては、長野市の考え方を明確に提示し、地域の方々と協議を重ねることでコンセンサスを得る必要があります。

3. 伝統的建造物の特定

伝統的建造物の特定をする際の昭和35年以前というのは、大枠での目安であり、それを基調として「善光寺・宿坊・仲見世」エリア全体を見通す中で、町並景観における個々の建物を評価することとなります。

これまでこのエリアにおいて、伝統的建造物の特定について、基準に準じての棟単位で特定することが困難なため、試行錯誤を重ねてきました。当初、昭和35年以前の建物を特定するというのを重視したため、一棟の建物の中で対象部分と非対象部分に分けて取扱いしたこともありま

た。建造物の特定は棟単位で決定することを基本とすると、こうした取扱いは現実的ではありませんでした。

文化庁の指導を得て、昭和35年以前にこだわる必要はなく、長野市と地域住民の方々が何を維持・保存・継承していきたいのかが伝統的建造物を特定する場合に重要な要件となるという方向性を見出すことができました。

このエリアの建物は、ただ古い建物が残っているということではなく、増築による現在までの変容過程と景観にこそ伝建保存地区における伝統的建造物としての独自性や固有性があるととらえています。

4. 地元の方々と協働

重伝建選定に向けて、現在特定物件の選定、条例制定等を進め、地元の方々にも説明会を重ねてきています。これからも地元の方々の思いを軸に、協働して伝建地区にしてよかったと言われるまちづくりを進めていきたいと考えています。

(長野市教育委員会文化財課)



至 善光寺

善光寺の 世界遺産登録に向けて

第9回

善光寺門前町の変遷

善光寺の世界遺産登録をすすめる会
専門委員
小林一郎

はじめに

誌面をお借りして、近世から近代に至る善光寺門前町の変遷を、それを促した5つの契機を取り上げてまとめておくことにする。ここで言う善光寺門前町とは、善光寺から長野駅に至る長野市の中心市街地である。

善光寺門前町の基本構造

鎌倉時代にはすでに、善光寺に門前町が形成されていたことが知られている。そして中世の善光寺とその門前町は、古代からの条里的区

画の上にあった。善光寺から南に一直線に伸びる現在の表参道(中央道路・中央通り)は、その沿道にかるかや山西光寺や中御所観音寺などの古寺が点在することから、中世にはすでに表参道として存在していたことは確実である。この道が古代からの主要な道路であり、区画であったことはほぼ間違いない。

一方、仁王門の北側に東西に延びる道は、東は中道と呼ばれ、条里制の遺構が残る水田地帯を貫いて遥か千曲川にまで達している。この道は条里制の基準線と見られている。これを仁王門から西にたどれば、桜小路と呼ばれた商業地を経て西山中に通じている。

善光寺の本堂は、300年ほど前に現在の位置に再建されるまで、現在の仲見世の位置にあった。したがって、仲見世と仁王門との間を起点としたT字型が、善光寺の門前町の基本構造である。

裾花川の流路変更

中世の善光寺門前町は、現在の大門町に当たる南大門(地名)が主で、その南に後町があった。そこは後庁と呼ばれる信濃

を支配する政庁のあったところで、問御所(豊御所)といった地名もその関連であろうと言われる。しかし後町の南は、現在の新田町交差点付近を中心に裾花川が西から東に向かって流れていたため、門前町がそれより南に広がることはなかった。

ところが松代城代花井吉成によって近世初頭に裾花川の流路が現在のように変更されると、門前町は南に発展した。その結果近世の中央道路には、善光寺から現在の二線路通りとの交差点まで、間断なく家々が立ち並んでいた。その南は石堂田んぼと呼ばれた水田が広がり、人家はまれであった。

善光寺本堂の移転再建

善光寺の本堂は古来現在の仲見世の位置にあったが、現本堂はその百数十m北方の現在地に再建された。宝永4年(1707)のことである。これにより本堂の旧地は堂庭と呼ばれる広場となり、参道に沿って仮店が軒を連ねることになった。これが仲見世のはじまりである。こうして善光寺門前町のT字構造は、十字構造に変化した。



明治時代の大門町



後石堂田甫
善光寺市街
見上之畧圖
赫陽齋画

南から見た江戸時代の善光寺の門前町。現在の二線路通りとの交差点付近。(「善光寺大地震図会」より)

県庁の設置

明治4年、西町の西方寺に長野県庁が置かれ、西方寺の本堂が仮庁舎として使用された。明治7年、現在の信州大学教育学部東端に庁舎が新築され、県庁は移転した。これにより県庁前と中央道路とを結ぶ若松町通りが開かれた。

明治12年には、県庁から南に一直線に伸びる県町通りが開かれた。これは県庁を中心とする新たなT字構造であった。こうして門前町の十字構造は、脇にT字構造を抱え込むことになった。近代になって善光寺の門前町は県都として再出発することになったが、それはこうした都市構造にも反映されている。

長野駅の設置

明治21年5月1日、関山・長野間に鉄道が開通し、長野駅が開業した。これにより大門町の旅館がこぞって駅前支店を設けるなど、駅前が新たに市街化した。これに続く南石堂も街並みができ、善光寺周辺から長野駅までが一続きの町となった。長野駅から中央道路と平行に裏権堂に通じる千歳町通りも開かれた。その結果、善光寺に至る中央道路は西に県町通り、東に千歳町通りという平行する通りを持つことになった。

商業の中心地は善光寺周辺から長野駅周辺へと次第に移動することになった。

中央道路の拡幅

善光寺門前町の縦軸である中央道路(中央通り・表参道)の拡幅事業は、大正12年5月に起工され、翌13年12月に竣工をみた。これによりそれまで場所によっては2間半(4.5m)しかなかった道幅が、10間(18m)幅に広がった。これに伴って通り沿いの多くの建物が新築された。

また、昭和に入って開かれ戦後は国道19号として整備された昭和通りや、長野五

輪を機に登場した国道406号などは、門前町の新しい横軸であると言ってよい。

まとめ

5つの契機を取り上げ、門前町の拡大し変貌する過程を見てきた。門前町に変化をもたらしたこの5つの事象はいずれも人為であって、不可避の自然災害などではない。善光寺の門前町は人間の営みとともに変貌してきたのである。



小林一郎(こばやし いちろう)

長野郷土史研究会会長。歴史の町長野を紡ぐ会顧問

1950年長野市に生まれる。

高校教員を務め退職。郷土史や文学、絵解きを研究。

善光寺縁起の研究をきっかけに早くから絵解きに注目し、県内外を歩いて絵解きの研究をしてきた。またこれまで知られていなかった「善光寺繁昌記」や「善光寺独案内」を世に出すなど、善光寺門前町についても造詣が深い。

著書には「善光寺如来縁起」「門前町伝説案内」「伝説の寺、善光寺」「善光寺縁起ものがたり」など多数。

2010年度 事業報告

2010

4月

- 幹事会
- 平成22年度 第1回推進会議

5月

- 幹事会
- 総会
- 【第1号議案】2009年度活動報告決算承認の件
- 【第2号議案】2010年度活動計画予算承認の件

世界遺産セミナー 講師:秋枝コミイザベル先生
「善光寺と門前町」—世界に発信するStatement of OUV

7月

- 幹事会
- 第40回長野びんずるでPR

8月

- 幹事会

9月

- 後援 公開講座(刈萱山 西光寺) 主催:長野郷土史研究会
「善光寺と世界遺産で絵解きの舞台・高野山」
添付資料

10月

- 後援 小林玲子と行く絵解き文化の旅 主催:長野郷土史研究会
「世界遺産で絵解きの舞台・高野山」
- 阿部県知事懇談会

11月

- 幹事会
- 第2回推進会議

12月

- 日本イコモス国内委員会2010年次総会

2011

2月

- 国宝松本城を世界遺産に講演会
～世界遺産の現状と将来～ 参加
講師:松浦晃一郎氏 ユネスコ前事務局長
- 門前町文化ツアーなどの企画
(参加者少なく延期)

2011年度事業計画

暫定リストに向けた活動の推進

- 推進会議の開催
- 伝統的建造物群保存地区の指定に向けた支援・協力
- 一般市民への啓発活動
- 新規パンフレットの作成
- PR活動(メディアを使ったPR・ニュースレターの発行・ホームページの更新、充実化・ポスター、のぼり旗、ステッカー等の作成)

すすめる会会員一覧

すすめる会は、ご覧の会員の皆様方からの年会費によって活動しております。

朝日税理士法人	鈴木土地	長野ケーブルテレビ	長野トヨタ自動車	松澤工業
朝日病院	炭平コーポレーション	長野県経営者協会長野支部	長野トヨペット	松田 南信
植木商店	駿専青木商店	長野県建築士事務所協会	長野西ロータリークラブ	マツヤ
エーシーエ設計	善光寺	長野県社会保険労務士会	長野東ロータリークラブ	マルイチ産商
FMぜんこうじ	善光寺木遣り保存会	長野県信用組合	長野放送	萬住亭
FM長野	善光寺まちづくり会議	長野県信用農業協同組合連合会	長野ユネスコ協会	ミヤテック
エムケー精工	善光寺淵之坊	長野県中小企業団体中央会長野支部	長野ロータリークラブ	宮本忠長建築設計事務所
おらが園	損保ジャパン長野支店	長野県芸術文化協会	中村建築研究所	明和印刷
カシヨ	第一建設工業長野支店	長野小売酒販組合	中山法律事務所	元善町
北野建設	第一印刷	長野国際親善クラブ長野	夏目	山口司法書士事務所
倉田博光会計事務所	泰和	市設計協会	日新電機製作所	八幡屋磯五郎
小池新聞店	タカチホ	長野市電設業協会	日本通運長野支店	
国際ソブチミスト長野みすず	高野総本店	長野酒造協会	日本機材	
小林歯科医院	滝沢無線	長野商工会議所	日本旅行長野支店	
西條被服	長印	// 篠ノ井支部	野村證券長野支店	
信濃毎日新聞社	鶴賀病院	// 松代支部	八十二銀行	
シューマート	テレビ信州	長野商店会連合会	八十二文化財団	
信越定期自動車	電算	長野信用金庫	福澤商店	
信越放送	東邦商事	長野青年会議所	藤森建設工業	
信州製袋	長野朝日放送	長野設計協同組合	バイクックコーポレーション	
信防工ディックス	ながの観光コンパニオンビューロー	長野通運	ホテル国際21	
信毎文化事業財団	長野北ロータリークラブ	長野都市経営研究所	増田商会	(50音順)

平成23年5月現在 ※表記等で間違いや訂正などございましたら事務局までご連絡下さい。

編集 後記

2011年3月に発生した震災により多くの尊い命が奪われ、同時に多くの建物が倒壊しました。それらの中には地域の人々の心の拠り所であった歴史的に重要な建造物も数多くあったと推測されます。犠牲になられた多くの方のご冥福をお祈りすると共に、一日も早い「まちの再生」を望んでおります。
(渡辺 圭)